

1 目的

- ・本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験させ、読書生活の習慣化を図る。
- ・読書の感動を文章に表現することをとおして、豊かな人間性や考える力を育む。
- ・自分の考えを正しい日本語で表現する力を養う。

2 対象図書

- (1) 自由読書の部【フィクション・ノンフィクションは問わない。日本で出版された図書】

<対象外>	①教科書・副読本	②雑誌（別冊付録含む）	③パンフレット類
	④電子書籍	⑤読書会用テキスト	⑥日本語以外で書かれた図書
	⑦本年度の課題図書		

- (2) 課題読書の部 毎日新聞社主催のもの 【別紙参照】

3 用紙・文字数・・・B4サイズ400字詰め原稿用紙を使用する。

- ①低学年（1・2年生） 2枚以内（本文 800字以内）
- ②中・高学年（3～6年生） 3枚以内（本文1200字以内）

4 応募に関する注意事項

- (1) B4サイズ400字詰め原稿用紙に、縦書きで自筆とし、制限枚数いっぱい書くことが望ましい。
- (2) 1行目から本文に入る。句読点、改行のための空白は字数分とする。
- (3) 原稿用紙1枚目欄外に、①題名 ②学年 ③氏名のみ
最後の用紙の欄外に、①書名 ②著者名 ③出版社名を書く。

5 提出について・・・9月1日（月）に提出してください。

～読書感想文の書き方～

- (1) 行間を読み取る。
 - ・本に書かれていないことを考えてみる。
 - ・読みながら気付いたことをメモする。
- (2) 読書感想文の手がかりを見つける。
 - ・自分と似ているところ、同じところがあった。
 - ・物語を通して、作者の言いたかったことは何だろう。（主題）
 - ・なぜだろう、どうして、と考えて、思ったことやわかったこと。 など
- (3) 感想文を組み立てる。
 - ・書きたいことをいくつかにとめる。
 - ・組み立てと全体のまとめ方を考える。
- (4) 感想文に肉付けをする。
 - ・「はじめ」と「おわり」を考える。
 - ・自分の考えを書いていくほかに、友達や家族と話し合ったことなどを加える。
 - ・お話の主人公に手紙を書いたり、話しかけたりするとしたらどうするかを書く。 など
- (5) 自分の感想文に「題名」をつける。
 - ・自分の作品にぴったりの「題名」をつける。
 - ・段落や誤字、脱字、句読点「、」「。」の間違いなどを確かめる。